

2022年度
新採労働学校

仲間との学習と交流を深める
今後の青年女性運動の前進に向けて

11月25日から27日の3日間、東京都において中央本部主催の「2022年度中央新採労働学校」が開催され、全国から新入組合員を含めた97人が結集し、四国地本からも14人が参加しました。この間、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮する中で労働学校の開催についてもWEB形式で行われてきましたが、今回は3年ぶりに全国の組合員が集まるかたちでの開催となりました。



2022年度新採労働学校の全体参加者



発行所
高知市丸ノ内
一丁目3の30
全国林野関連労働組合
四国地方本部
TEL821-2238
発行責任者
芹口竜一

当面の日程

- 3/4~6 青年女性春闘学習交流集会(東京都)
- 3/8 人事院四国事務局交渉(高松市)

窓口メモ

- ◇国有限野情報管理システムの見直しの検討について(1/25)
- ◇2022年度10月期及び1月期の遡及昇格について(1/27)
- ◇人材情報統合システムでの身上情報に関する各種申請機能の稼働について(1/26)
- ◇請負事業者等の労働災害発生状況について(1月末の発生状況)(2/3)
- ◇2023年度林野庁共済組合職員の再任用希望者への条件提示について(2/9)
- ◇公務災害の発生状況(1月期)について(2/10)
- ◇共済組合掛金率の改定について(2/13)
- ◇2022年度下期人事評価の期末評価の実施について(2/17)

2022年度新採労働学校の全体参加者が、11月25日から27日の3日間、東京都において中央本部主催の「2022年度中央新採労働学校」が開催され、全国から新入組合員を含めた97人が結集し、四国地本からも14人が参加しました。この間、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮する中で労働学校の開催についてもWEB形式で行われてきましたが、今回は3年ぶりに全国の組合員が集まるかたちでの開催となりました。

1日目は、衆議院第2議員会館1階多目的会議室において参議院議員の小沢雅仁議員、岸真紀子議員から「労働者、労働組合と政治」をテーマに講義を受けました。お二人それぞれ、JP労組、自治労出身の議員であり、労働組合で運動を行ってきた自身の経験から、労働組合の役割とは環境を作る「空気」のように重要なものであるとの話がありました。その後、国会見学

新採労働学校に参加しての感想

労働学校へ参加した仲間から感想をいただきましたので掲載いたします。

前田聖人(徳島)

3日間の新採労働学校に参加して印象に残ったことは、2日目の立教大学・首藤教授の講義「労働組合とは何か」その役割と課題についてです。「労働組合とは本来、職場の不満などを拾い、労働組合がワーク・ルールを作っている

く主体である。」というお話があり、労働組合のあり方について考えを深めることが出来ました。大きな問題をすぐに解決することは難しいですが、小さな問題や不満から解決していくように組合員としての活動もがんばり、より良い職場環境にしていきたいと思いました。

佐藤ひより(徳島)

今回の労働学校に参加するまで、林野労組に入っていない利点が正直分かっていませんでしたが、林野労組の歴史や活動について知り、思っていました。交流し、業務のことや私生活・趣味のことを互いに共有でき、大変有意義な時間を過ごせました。このような機会を設けていただけたことを光栄に思います。



国会議員より講座を受ける参加者



「日本から飛び出し海外で働いてみたい」そんな風に思ったことがある方もいるのではないだろうか。永住者も含め海外に長期滞在する日本人は2022年、およそ130万人。この20年で6割増加しているという。最近では、安定した職を辞めて海外へ出稼ぎに向かう若者が多くなっているという。その背景には、経済成長と同時に賃金を上昇させる先進国のトレンドに日本だけが取り残される現実がある。20年以上据え置いた賃金等は、現在の物価高騰に追いつかない状況の中、生きていくための稼ぎや夢を求めて海外へ向かう。オーストラリアの農場で働く男性は1日6時間の作業で月収50万円。また、介護施設で働く女性はアルバイトを掛け持ちして9か月で270万円貯金し、念願の大学院進学を準備を整えたとの話もあった。生きるためには、海外しかないそうといった切実な事情を背負った若者も少なくない。そこには、日本の未来に見切りをつけた若者の本音があるだろう。「労働市場に対する、若者たちの静かなストライキ」との見解を示す専門家もいる。当然、日本で暮らす私たちにはわからない様々な苦勞や経験があるだろう。いずれにしても賃金・年金の引き上げ、社会保障をはじめとする国民生活に関わる取り組みが喫緊の課題だ。(とこ)

2022年度 新採労働学校

労働組合があるからこそ 職場の労働条件がある

仲間と集まって話し合い行動することが大切

楠瀬博也(香川)

労働学校では、盛りだくさんのプログラムのなかで様々なことを学ばせて頂き

石本雄大(香川)

初日の議員2人からの講話では、郵便局職員の事実上の身分剥奪を例に労働組合の必要性等が学べました

伊佐林里子(香川)

全く分からないまま加入していた組合について、よく知ることが出来ました

また、交流会や社会見学の中で、全国の同期や局内の同期と交流することが出来



四国地本から参加した青年女性員会の皆さん

川村成世(四万十)

当初7月ごろに開催予定だった全国の新規採用者研修が新型コロナウイルスの影響で中止になり

田村翔太(嶺北)

今回の新採労働学校にて他局の同期の方々とは交流することができ

立石将彬(大橋)

労働学校では様々なことが経験できました

森本崇斗(局)

私は組合の活動というものに参加すること自体が今初めてだったのでとても貴重な経験ができました

青山侑馬(愛媛)

参加してみて感じたことは、林野庁という大きな組織にいるにもかかわらず

組織討議資料

地本推薦候補の勝利に向けて 第20回統一地方選挙の取り組み

2023年4月に投票が行われる第20回統一地方選挙については、①都道府県と政令市の首長及び議員選挙は、4月9日投票開票、②政令市以外の市区町村の首長・議員選挙は4月23日投票開票の予定で行われます

<県議会議員:地本推薦候補者>

Table with 7 columns: 県, 選挙区, 定数, 立候補者名, 現・新, 出身労組等, 政党, 該当分会. Rows include 徳島, 香川, 高知.

<市町村議会議員:分会推薦候補>

Table with 7 columns: 県, 選挙区, 定数, 立候補者名, 現・新, 出身労組等, 所属党派, 該当分会. Rows include 徳島, 香川, 高知.

な体験でした。特に国会見学では、建物自体が考えられた構造をしていて、とても美的センスを感じました



全国の仲間とともにまなぶ参加者(東京都・林野会館)

3日目の分散会でしか話す機会はありませんでしたが、その限られた時間の中で、他局の現状や課題などの業務の話や、趣味や休日の過ごし方などのプライベートの話を話すことができてよかったです

今回の新採労働学校にて他局の同期の方々とは交流することができ、貴重な時間を過ごすことができました

労働学校では様々なことが経験できました。初日は議員の講話を聞いたり、組合の方のお話を聞いたりして、正直、あまり興味がわかなかったが、組合としてやるべきことを聞くことが出来たと思います

私は組合の活動というものに参加すること自体が今初めてだったのでとても貴重な経験ができました。初日の議員の方のお話から国会見学、どれも貴重な体験ができました

編集後記

紙面の都合上、参加者全員のご感想を掲載できませんでしたが、次号以降に掲載させていただきます